

萩市企業景況調査

D I 方式

令和4年 10月～12月期 実績
令和5年 1月～3月期 予測

《調査機関》
萩商工会議所

D I (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？
D I は各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。
◎ D I = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

景況の概要 **コスト上昇、物価高や需要停滞の懸念から厳しい見方続く。**

令和5年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり（調査対象企業：萩市内60社、回収率88%）。

生産・売上 規制緩和による客足の回復、年末年始による個人消費の拡大など経済活動の回復傾向がうかがえ、調査時点では前期比は全業種で増加となった（平均39.6%）。前年同期比では製造業が横ばい、建設業が減少、それ以外の業種は増加となった（平均11.3%）。今後（1～3月期）の見通しでは、建設業と小売業が増加、それ以外の業種は減少すると予測（平均▲24.5%）。

収益 前期比は小売業が減少、それ以外の業種は増加となった（平均24.5%）。前年同期比では製造業が横ばい、建設業と小売業が減少、それ以外の業種は増加となった（平均5.7%）。一方で今後（1～3月期）の見通しでは、建設業は増加、それ以外の業種は減少すると予測するなど悲観的な見方が強い傾向にある（平均▲30.2%）。

資金繰り 前期比は建設業と卸売業が好転、製造業と小売業が横ばい、観光関連業が悪化（平均1.9%）。今後の見通しでは、建設業と小売業が好転、卸売業が横ばい、それ以外の業種は悪化すると予測（平均▲18.9%）。

従業員数 経営上の問題点も人材の確保難が上位となっており、前回調査から全業種で人員不足という業況が続いている（平均43.4%）。

経営上の問題点 ①需要の停滞26.4%②仕入れ価格の上昇24.5%③人材の確保難22.6%の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、観光関連業を除くすべての業種で停滞と予測（平均▲34.0%）。資材・原材料価格の高騰や人手不足による受注機会の損失、物価高による需要の停滞、価格転嫁が行えていないなど依然として先行きは厳しい見方が続いている。

景況に関する生の声 ■住宅ローン金利の動向が気になるところである（住宅建築）。■仕入価格（原料・資材等）の上昇、人件費等経費の増加（海産物加工）。■漁師の高齢化で船の減船、漁獲量の減少（水産卸）。■依然として入荷遅れが続き、納車までの期間が長期化してる為、お客様の購買意欲が削がれる状況（自動車販売）。■全国旅行支援により観光客の増加（旅客運送）。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	33.3	44.4	44.4	25.0	44.4	44.4	39.6	10.5	6.7
	前年同期比	▲44.4	0.0	22.2	12.5	44.4	33.3	11.3	▲3.5	▲21.7
	5年1月～3月期見通し	44.4	▲55.6	▲55.6	12.5	▲44.4	▲44.4	▲24.5	8.9	8.3
収益	前期比	11.1	33.3	33.3	▲25.0	22.2	66.7	24.5	▲10.5	0.0
	前年同期比	▲44.4	0.0	22.2	▲12.5	22.2	44.4	5.7	▲14.0	▲21.7
	5年1月～3月期見通し	22.2	▲55.6	▲44.4	▲12.5	▲44.4	▲44.4	▲30.2	▲1.8	6.7
資金繰り	前期比	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	▲11.1	1.9	3.5	▲10.2
	5年1月～3月期見通し	11.1	▲66.7	0.0	12.5	▲55.6	▲11.1	▲18.9	▲7.0	▲10.2
従業員数 4年12月末		66.7	33.3	55.6	25.0	55.6	22.2	43.4	35.1	30.0
設備投資	(実績)	11.1	55.6	0.0	25.0	44.4	44.4	30.2	28.1	21.7
	(計画)	33.3	55.6	22.2	37.5	44.4	44.4	39.6	19.6	30.5
業界動向		▲22.2	▲44.4	▲66.7	▲37.5	▲33.3	0.0	▲34.0	▲53.6	▲30.0